

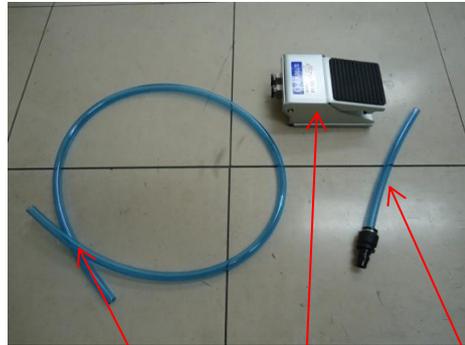
YP222 バフ洗浄機

この度は、「バフ洗浄機」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に、取扱説明書を良くお読みのうえ、正しくお使い下さい。

●商品内容



クリーナー本体

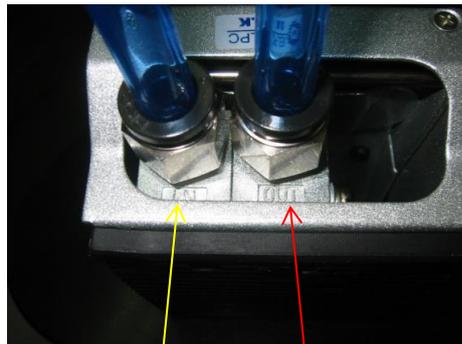
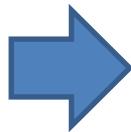


フットスイッチ
接続ホース (長さ 1M) 接続ホースカップラ付き (長さ 20cm)

●ホースの接続方法

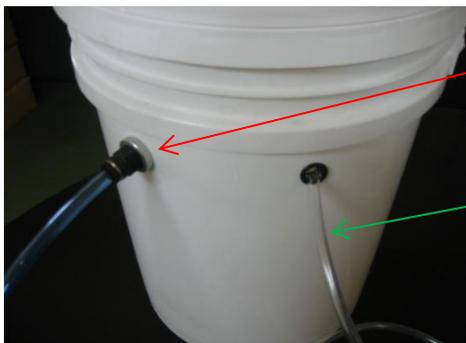


- ①フットスイッチのOUT側に1Mのホースを接続。
- ②フットスイッチのIN側にカップラ付きホースを接続。



IN OUT

- * どちらもホースを押し込んで、引っ張っても抜けない事を確認。
- * OUT INを間違えない事。



- ③フットスイッチのOUT側に接続した1Mのホースを本体に接続。
- ④本体に接続済みの透明ホースは水の吸い上げ用(先端に継ぎ手があるので水の容器に投入)。

●使用方法



①カプラ付きのホースにエアーチャックを接続する。

②フットスイッチを踏む前にポリシャーに装着したバフをバイブレーションの上にセットする。

- * バフをセットしていない状態では使用しない。
- * バイブレーションに顔や手を近づけない。
- * エアー圧は0.8MPa以下にて行う。



③フットスイッチのゴム部分を踏みこみ、エアー吹きもしくは水洗いのどちらかでバフを清掃する。
(バイブレーションはどちらでも必ず回転する)

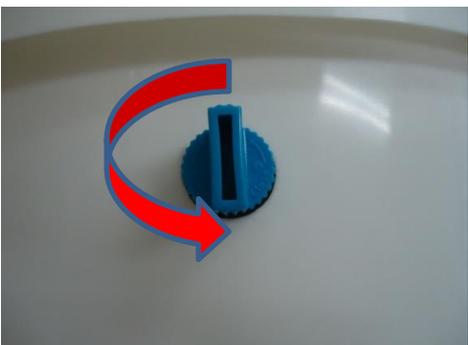
④同時にポリシャーのスイッチを入れてバフを回転させると清掃作業の効率が良くなる。

- * バフを回転させる時に本体のフタに当たらない用に注意する。
- * バフはバイブレーション部分に押し付けず、少し浮かした状態で使用する。



⑤水洗いを行う場合は、必ず付属の透明ホースに水の入ったポリ容器やバケツ、ペットボトルなどを接続。

- * 汚れていない水を使用する。
- * ホースの先端についでいる継ぎ手を容器の底まで投入する。



⑥水洗いとエアー吹きの清掃を併用する場合は本体の横に付属している、切り替えツマミで調整する。

ツマミが縦方向 はエアー吹き。
(磨き作業中の清掃はエアー吹きを推奨)

ツマミが横方向 は水洗いとエアー吹き。
(磨き作業終了時は水洗い→乾燥を推奨)
(バフの汚れがひどい時などは両方兼用推奨)